

主治医の診断を受けてから登園してください。

病名	登園基準	主要症状	潜伏期間
インフルエンザ(様疾患)	発症した後 5 日経過し、かつ解熱した後 3 日経過していること	発熱・全身倦怠・筋肉痛・鼻・咽頭痛・咳・食欲不振	1～4 日
百日咳	特有の咳が消失していること又は 5 日間の適正な抗菌薬による治療が終了していること	連続性・発作性の咳が長期に続く	7～10 日
はしか(麻疹)	発疹に伴う熱が下がった後、3 日を経過し元気のよいとき	上気道のカタル・発疹・粘膜疹コプリック斑	10～12 日
ウイルス性肝炎	主要症状が消退し体調が改善するまで	全身倦怠感・食欲不振・自覚症状無し	
おたふく風邪(流行性耳下腺炎)	耳下腺・顎下腺・舌下腺の膨張が出現してから 5 日経過し、かつ全身状態が良好になっていること	発熱・耳下腺・顎下腺・舌下腺の腫脹・痛み	16～18 日
風疹(三日ばしか)	発疹が消失していること	発疹・熱・リンパ腺腫大	16～18 日
水ぼうそう(水痘) 帯状疱疹	すべての発疹が加皮(かさぶた)化していること	熱・点状発疹・水疱・加皮・かゆみ	14～16 日
プール熱(咽頭結膜熱)	発熱・充血等の主な症状が消失した後 2 日を経過していること	発熱・咽頭発赤・咽頭痛・結膜充血・眼脂・扁桃腺炎	2～14 日
流行性角結膜炎	結膜炎の症状が消失していること	熱・充血・目やに・流涙	2～14 日
急性出血性結膜炎	医師により感染の恐れがないと認められること	強い目の痛み・結膜の充血・結膜下出血・目やに	2～3 日
ヘルパンギーナ	解熱し食事が充分とれて元気になったとき	高熱・咽頭痛・咽頭に水疱	2～7 日
手足口病	普通食が食べられるようになり、体力が改善したとき	感冒様症状・手足口に赤斑→水疱	2～7 日
リンゴ病(伝染性紅斑)	全身状態が良いこと	発熱・倦怠感・両頬に淡紅の蝶翼状の紅斑・四肢に網目状、レース様の発しん	4～14 日
溶連菌感染症	抗菌薬の内服後 24～48 時間が経過していること	発熱・咽頭痛・扁桃炎・中耳炎・のどの痛み・発しん	2～5 日
乳児嘔吐下痢症(ロタウイルス)	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事が摂れること	嘔吐・下痢・白色便	1～3 日
感染性胃腸炎(ノロウイルス)	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事が摂れること	発熱・腹痛・嘔吐・下痢	12～48 時間
マイコプラズマ肺炎	発熱や激しい咳が治まっていること	咳・発熱・呼吸困難・頭痛	2～3 週間
突発性発疹	解熱し機嫌がよく全身状態がよいこと	3 日間程度の高熱の後、解熱とともに紅斑が出現	9～10 日
とびひ(伝染性膿痂疹)	病変部をガーゼ等で覆ってあること。	水疱・びらん・痂皮(かさぶた)	2～10 日